



志・感動・笑顔 3つの「あ」を大事に
 ~あきらめない ありがとう あいさつ~

楯岡小学校だより 第9号
 令和4年12月20日(火)
 【文責:校長 井上敏春】

たてやま

楯岡小 Web ページ
 QRコードから
 バックナンバーも
 ご覧ください。



後期前半を終えて「振り返り」を大切に そして「一年の計は、元旦にあり」



今年の降雪は例年に比べて遅く「どうかこのままで…」と願っていたのですが、やはりそうは行きませんね。やっぱり冬は冬らしくが一番です。いつものこととはいえ19日(月)朝の大人たちは、除雪作業に四苦八苦したのではないのでしょうか。そのような中、子供たちはさすがです。防寒着に身を包み、長靴の完全装備でたくましく登校してきました。「おはようございます!!」のあいさつもいつもの元気よさ。地域の皆様も子供たちの登校を気遣い、学校前の制限速度30kmをはるかに下回るスピードで水しぶきがかからぬように走ってくださいました。子供たちの安全・安心のため、いつもありがとうございます。

16日(金)に今年最後の全校朝会を行いました。後期始業式で“一人一人の「志」を大切に「あきらめず」にがんばろう”と約束したこと、そしてその「がんばり」に対する「振り返り」の大切さについて話をしました。全校での「がんばり」として11月19日(土)の「たてやま学習発表会」を挙げ、その実行委員の中心としてがんばった集会委員会委員長の6年1組 森 愛奈さんに振り返りを発表してもらいました。次に11月13日(日)に大阪堺市で行われた「全日本合唱コンクール」で見事銀賞を受賞した楯小合唱部を代表して合唱部部长6年2組 高橋歩武さんにも振り返りを話してもらいました。二人とも、自分の言葉で、感じたことや次に生かしたいことを交えて3~5つの文で、しっかりと話し切りました。各学年・学級でも同様に一人一人が振り返りをしています。

また、もう一つの話として「一年の計は、元旦にあり」という言葉(故事・ことわざ)を挙げました。「晦日」は月末を表し、「大晦日」は一年の終わりの12月31日であること、そして1月1日は「元日」、その午前のことを「元旦」といい、「旦」の文字は地面から太陽が上がる日の出の様子を表すことなどを話しました。1年生から6年生まで、どの子もこうした話を実に真剣に聞きます。「一年の計は、元旦にあり」は「何事も最初に計画や準備をしっかりとすること=志をしっかりとつこと」と話しました。

令和5年1月1日の日の出は朝6時57分だそうです。初日の出が押める天候であることを願いながら、甕岳から上がる時刻は少し遅いかもかもしれませんが、令和5年もすてきな一年となりますよう、ご家族一緒に東の空に向かって、志を唱えてみてはいかがでしょうか。



12月15日(木) 昼休みに3年生や保護者、ご指導いただいた齋藤先生をご招待して居合道クラブ発表会を行いました。

11～12月は、外部指導者を招いた学習や行事を学校や学年等で多く企画しました。今、子供たちに求められている学習は実に多様化しています。その道のプロに教わること、たくさんの人と触れ合うこと、体験の重視などを通して、真の学び手を育てていきます。



1年 技と身のこなしに感動!

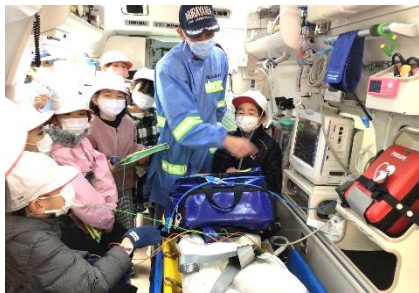
1年体育「マット運動」で、11～12月にかけて地域おこし協力隊 藤井 雅(みやび)先生(詳しくは、市ホームページ「市民の友『むらやま』2022.06.01 No.1344」をぜひご参照ください。)をお迎えしてご指導いただいています。東京都出身で大学時代は新体操部キャプテンとして全日本チャンピオンに輝いた実績の持ち主です。リボンやフラフープなどを使った“さすがプロ!”の技や身のこなしに魅了されます。教え方もとても分かりやすく、子供たちはあこがれの眼差しで一生懸命に学んでいます。

2年 読んで、作って、書いて...

2年国語「馬のおもちゃの作り方」という学習があります。説明文を読み、写真や言葉をヒントにしながら、実際に馬のおもちゃを作っていきます。分からないところは教え合いながら、自分の力で作ります。



そして次は、自分が選んだおもちゃの作り方を順序良く説明する文書を書きます。“他人が書いた説明文を読んで理解し、そのとおりに体験すること。そして他人が分かりやすい説明文を自分が書く。”というように、学びの主体者としてインプットしたことをアウトプットするまで体験する学習が今、求められています。学び方は確実に変わっています。



3年 見て、聞いて、触れて、体験...

3年社会科の学習で村山市消防本部を訪問しました。3つの学級が12月12日(月)、15日(木)、16日(金)の3日間に分かれて訪問させていただき、ご対応いただきました。

そのおかげで、とても貴重な学習機会となりました。ポンプ車や救急車、救助工作車など、一人一人が直接、目で見、聞いて、触れて、体験させていただきました。火事の時や救助する時、救急救命の手当をする時など、その仕事に応じた服装があることも知り、改めて消防署の仕事の幅の広さや種類の多さに驚いていました。

楯岡中3年生が、楯小3年生に読み聞かせ

心温まる交流機会をありがとう!

11月29日(火)に楯岡中3年生10名の皆さんが2班に分かれて、本校の3年生に自作紙芝居の読み聞かせをしてくださいました。

“山形県高畠町出身の浜田広介さんの童話”をもとにした『五ひきのヤモリ』と、“早寝・早起き・朝ご飯の大切さ”を伝える『パワーアップレンジャー』の紙芝居でした。登場人物になりきり、動作なども交えた朗読は、さすが中学生。子供たちはお話の世界にすっかり引き込まれていました。本校の3年生からは、お礼として『三年とうげ』の歌を踊り付きで披露しました。互いに心温まる交流の機会となりました。



4年 無限に広がる未知の世界の危険性

4年生は11月22日(火)に「インターネットの危険性と安全な使い方」について、村山警察署生活安全課上席少年補導専門官 佐竹めぐみさんからご講話をいただきました。

スマートフォンやタブレットを使うことは当たり前の世の中です。ICT環境の変化速度に日々圧倒されます。そして、子供よりも先の情報を得ることは大人として難しい時代に入っているのではないのでしょうか。しかし、子供を守るべき大人として“無限に広がる未知の世界”であることを肝に命じ、今の情報で“知っている(つもり…)”や“大丈夫だろう…”などと過信せず、常に情報を更新していきたいものです。



全校児童・5年 土砂災害避難訓練と出前授業

11月21日(月)山形県砂防・災害対策課、山形県村山総合支庁北村山河川砂防課、村山市総務課危機管理係から8名ほどの皆様に講師を迎え、土砂災害を想定した全校避難訓練と5年生を対象とした出前授業を行いました。本校東側の一部が土砂災害警戒区域に含まれています。楯山に関してはその対策工事は既に完了しているものの、万が一を想定して実施したものです。非常ベルと避難指示放送に従い、土砂災害警戒区域外になっている校舎西端〔低学年は小体育館と第2音楽室、中学年は会議室と理科室、高学年は(大体育館)〕へと避難しました。これまでの避難訓練(火災や地震、不審者など)経験を踏まえ、子供たちは整然と速やかな避難行動ができ、お褒めの言葉をたくさんいただきました。



5年生を対象とした出前授業では、災害の怖さと心構えを学びました。現在、県内各地で行われているこの授業、実は10年前に楯山の災害対策工事をきっかけに、楯岡小で行われたのが始まりなのだそうです。土石流、地滑り、崖崩れの3種類の災害についての画像や動画、模型を使った説明などで具体的に学びました。毎年のように暴風や豪雨被害が頻発しており、子供たちの眼差しは真剣で、万が一に備えた行動がとれるようにしたいと感想を述べていました。

6年 「薬物乱用防止」と「薬の正しい使い方」教室

6年生は11月22日(火)村山教育事務所青少年指導担当 大木隆幸さんを講師を迎え「薬物乱用防止教室」を行いました。未成年者の薬物利用検挙率が高くなっており、小学生でも検挙された事例があること、一度薬物に手を出すと抜け出せず、心身に大きな弊害があるなど、薬物の怖さを教えていただきました。



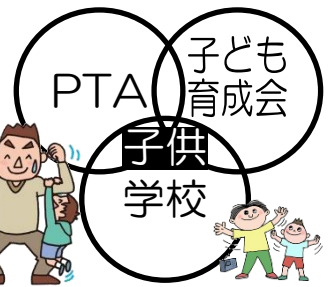
また、12月13日(火)学校薬剤師 渡部麻美さんを講師に迎え「薬の教室」を行いました。市販薬も用法を守らず服用することによる危険性や大量服用による副作用や禁断症状の恐ろしさなどについて学びました。2つの教室ともに「自分の体を守れるのは自分である」ということを改めて教えてくださいました。



未来社会をたくましく生き抜く力を子供一人一人に育むため、地域や関係機関の大人の皆様(社会の先輩方)にご理解・ご協力いただき、総力戦で授業を仕組んできました。とても意義ある重要な学びの連続でした。

地域で豊かに暮らす子供、それを守り支える大人

村山市、特に楯岡小には当たり前のように存在し、保護者の皆様が所属する「PTA」と「子ども会育成会」の二大組織。子供を守り、育てる上で学校も交えた三者の協働関係はとても重要です。県内のどの地域や学校にも組織としての存在はあるはずですが、本校のようにしっかりと機能している組織はそう多くはないと思っています。



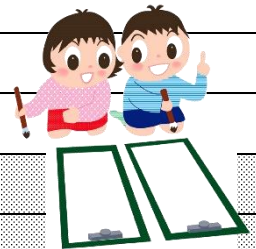
今回は「子ども育成会」主催行事をお知らせします。去る10月22日(土)には伝統ある「ちびリンピック」が行われました。昔は地域に当たり前にあった縦割り遊び、教えたり教えられたり、面倒見たり見られたりする子供同士の人間関係の大切さを改めて教えてください。登校班での整然かつ安全に登校する子供たちの行動に生きています。

11月26日(土)には、コロナ禍で久しぶりとのことですが、楯中学区6年生対象に「子ども交流事業～ともだち何人できるかなあ?～」が行われました。例年、西郷・袖崎・楯岡小の皆さんが分け隔てなくふれ合い、来年度も中学校生活にスムーズに移行できそうです。



1月の行事予定

日	曜	給食	関係行事
1	日	-	元日 年始休業～1/9(月)まで
2	月	-	振替休日
3	火	-	開庁日
4	水	-	
5	木	-	学校集金振替日(※本年度最終)
6	金	-	
7	土	-	
8	日	-	村山市「はたちを祝う会」
9	月	-	成人の日
10	火	弁	朝会
11	水	○	校内書き初め① フッ素洗口⑳ 児童委員会⑬
12	木	○	校内書き初め②
13	金	○	一斉下校
14	土	-	
15	日	-	
16	月	○	



17	火	○	避難訓練(積雪時)④ 自動車文庫㉑
18	水	○	幼保小連携会議② フッ素洗口㉑
19	木	○	学校評議員会②
20	金	○	楯中新入生説明会(保護者のみ)・授業体験 →※保護者と6年児童の参加に変更となりました。
21	土	-	
22	日	-	
23	月	○	
24	火	○	自動車文庫㉑ 創立150周年事業実行委員会①& 第2回PTA学年委員会・専門部会
25	水	○	児童委員会⑭ フッ素洗口⑳
26	木	○	児童代表委員会
27	金	○	
28	土	-	
29	日	-	
30	月	○	
31	火	○	



【参考】2月の主な行事予定(12/20現在)

- 2/ 4(金) 新入学児童一日入学(弁当日)
- 10(金) PTA会計監査/総務委員会②
- 13(月) 振替休業日(2/18の分)
- 18(土) 授業参観・学級懇談会
- 24(金) 校外子ども会(新通学班編成)

